

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ててスクール 与野教室			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 31日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりの発達段階に応じた学習サポート及び進路相談の充実	基礎学習の定着を図る教材の提供・指導、学校課題のサポートを行う。特別支援学校を中心に受験対策を行い、進路相談を実施し、進路先について多角的にアドバイスを提供。また、将来の自立した生活に必要なスキルを構築する為、パソコンのタイピングやお金の計算を中心に課題を提供。	学習支援や育脳活動を一人ひとりのペースや興味に合わせてさらに細分化する。学習の進捗状況、子どもの日常の変化を職員間で共有する時間の確保・強化。
2	協調性や成功体験を共有できる活動を実施	定期的な漢字検定の開催。過去問題で反復学習を行い、合格を目標に成功体験を積み重ねられるようにサポート。また、クリスマス会などでは「全員参加型」の協力ゲームを中心に据え、協調性を高め、成功体験を共有できるようにする。	今後も漢字検定や季節のイベントを通して、達成感や成功体験ができる機会を増やしていく。また、休み時間の小集団遊びも通して、ゲーム中に役割分担を設けたり、全員が「自分の役割」を果たす等の達成感を味わえるようにしていく。
3	問題解決力や集中力を伸ばす療育活動	パズル、迷路、論理的思考を養う教材などを取り入れ、楽しみながら脳の発達を促進していく。また、工作活動では、季節ごとのテーマを取り入れた制作活動を行い、手先の微細な動きや協調運動を高め、完成品を飾ったり持ち帰ったりすることで達成感得られるようにしている。	工作イベントを通して、家庭でのコミュニケーションを深める機会を提供。子どもたちの作品や成果を展示する専用スペースを設置することで興味を持ちやすくする。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の学習塾との連携	手帳を取得できないので、特別支援高校への進学ではなく、高校を一般受験をする生徒が一定数籍している。しかし放課後等デイサービスのため一般受験に対して限られた対応しかできない。	全ての利用児の将来の希望に応えられるよう、福祉関係の連携だけでなく、学習塾ともより深い連携を図りたい。児童の特性に合わせて対応してくれるような地域の学習塾の情報を集めてはいるが、今以上に情報の収集と連携に努めたい。
2	専門性を求められる療育活動	言語聴覚士等が在籍していないので、専門的な練習・訓練を求められた時の対応が難しいが、現状では保護者様から要望はない。	職員が出席可能な研修は積極的に参加する。参加内容は、職員同士及び他事業所とも連携し利用児のより良い療育の為に積極的に共有する。
3	運動プログラムの提供	運動は工作活動やパソコンなどを通じた指先の巧緻性を高めたり、正しい姿勢の構築などが中心となっている。	施設の広さに左右されず、手先の運動・足の運動など省スペースでも利用児が楽しく取り組みそうなプログラムを取り入れる。